三浦海岸駅前ひろば「線路下スペース UMICO」利用規約

京浜急行電鉄株式会社（以下「運営管理者」といいます。）が提供する「三浦海岸駅前ひろば」（仮称）（以下「本施設」といいます。）の利用に関して、以下のとおり利用規約（以下「本規約」といいます。）を定めます。なお、管理者が本規約とは別に本施設にかかるその他の規則・ルール等を定めたときは、本規約と一体となり、これを補完するものとします。

第1条（利用規約の同意）

本施設の利用を希望する個人および団体、事業者（以下総称して「利用者」といいます。）は、本規約を一読し、運営管理者あてに、利用申込書に必要事項を記入のうえ、メールにて申込むものとします。また、予約受付メールが利用者に届いた時点で、本施設の申込みが完了し、京急グループプライバシーポリシーおよび本規約に同意したものとします。

京急グループ プライバシーポリシー

<https://www.keikyu.co.jp/privacypolicy.html>

第2条（本施設の利用者資格）

1. 前条により本規約に同意した利用者本人および利用者同伴を条件に利用者以外の者をゲストとしてグループで本施設を利用することができるものとします。
2. 利用者は、ゲストに対し本規約を遵守させるものとし、利用者およびゲストが本施設を利用するにあたり善良なる管理者の注意をもって使用するものとします。

第3条（販売遵守事項）

イベント内容に食品の販売等を含む場合は、次の(1)～(4)すべてに該当する必要があります。

- (1) 食品衛生責任者、またはそれに代替える資格を有する。
- (2) 三浦市内において、公的機関の発行する営業許可を有する。
- (3) 生産物賠償責任保険等に加入者している。
- (4) 保健所が定める手順どおりに販売品を衛生的に扱える。

第4条（本施設の利用可能時間）

本施設は、下記利用可能時間内に限り利用することができるものとします。

9時00分～20時00分利用時間の拡大については、申込時にご相談ください。）

第5条（本施設の利用方法）

本施設は、原則として利用日の1ヵ月前までに申込書を提出し、運営管理者が認めたものに限り利用できるものとします。

第6条（本施設の利用制限）

本施設は、申込書の内容を確認後、利用をお断りする場合があります。

第7条（利用料金）

1. 利用者は、本サービスを利用するにあたり運営管理者に対して利用料金を支払うものとします。
2. 本サービスの利用料金は、1日あたり10,000円（税抜き） 土日祝日とも同一
※地域団体の利用については、1日あたり 3,000円（税抜き）
3. 利用者またはゲストが、故意または過失により、本施設に設置された什器等を破損、毀損、汚損等した場合は、修理・交換・清掃等に要する費用を利用者に別途請求することができるものとします。

第8条（利用料金の支払い方法）

1. 利用者は、前条に定める利用料金について、ご利用日の前日までに、請求書にて指定する口座に振り込み、支払うものとします。
2. 利用料金に課税される消費税および地方消費税等については、その法律に定める税率により算出した税額を利用者が負担するものとし、その支払い方法については前項に従うものとします。

第9条（キャンセル）

1. キャンセル料は下記のとおりとします。
 - (1) 利用1週間前までのキャンセル：無償
 - (2) 利用1週間前から前日までのキャンセルの場合：利用料の10%
 - (3) 当日：利用料の100%

※荒天時など、運営管理者が中止の判断をした場合は除きます。

2. 雨天や感染症蔓延により、利用者判断で中止となった際は、運営管理者は一切責任を負いません。なおこの場合に限り、3か月以内での無償での振替が可能です。中止判断した時点から1週間以内に運営管理者までご連絡ください。

第10条（本施設の利用権限）

本規約に基づき運営管理者が利用者に対して提供する本サービスは、利用者に対して本施設を継続的に占有する権原を付与し、または賃貸借もしくは使用貸借の性質を有するものではなく、短期的かつ一時的な本施設の利用の許諾であるものとします。

第11条（運営管理の再委託）

運営管理者は、本施設および本サービスの運営管理の一部または全部を第三者に委託することができるものとします。

第12条（利用制限・禁止事項）

1. 利用者は、本サービスを利用する権利について、運営管理者の許可なく第三者に譲渡または貸与等を行うことはできないものとします。
2. 本施設内において発生した盗難、事故等について、運営管理者は一切の責任を負いません。利用者の責任で、盗難防止および事故防止の対策をお願いします。
3. 食品販売行為において、食中毒、事故、トラブル等に対しては、運営管理者は責任を負いかねますので、利用者が各自生産部賠償保険等に加入ください
4. 利用者は出店に際し、各自ゴミ箱を設置し、ごみは各自で持ち帰ってください

さい。

5. 利用者は、本施設の利用にあたり、次に定める行為またはこれに類似する行為を行ってはならないものとします。

- (1) 敷地内での裸火・直火の使用
- (2) 大音量、振動、悪臭の発生等、周囲に迷惑または不快感を及ぼす恐れのある行為
- (3) 楽器の大音量での演奏
- (4) 釘やアンカーを打つなど、原状回復困難な装飾
- (5) 宗教活動または政治活動に関する利用
- (6) 本施設内での喫煙行為（本施設内では喫煙場所は設けておりません）
- (7) 本施設の利用権の全部または一部を第三者へ譲渡・転借すること
- (8) 公序良俗に反する行為、その他運営事業者が不適切と判断する行為
- (9) その他運営管理者や第三者に対する迷惑行為
- (10) その他本施設の利用規約等に反する行為

6. 近隣への配慮のため、音量は敷地境界線上で、最大数値を記録する地点での数値を 69dB 以下とします。

7. 排水は、施設内に設置された排水桝をご利用ください、使用済みの油やゴミ（野菜くずや残飯）を流す設備がございません。利用者の責任でお持ち帰りをお願いします。

8. 運営管理者は、利用者が前項の禁止事項に違反していると疑われる場合、利用者に対して当該行為の詳細について確認を求めることができるものとし、利用者は合理的な範囲でこれに協力をするものとします。

第 13 条（免責）

運営管理者は、次の各号に定める事由により利用者が被った損害については、その責を免れるものとします。

- (1) 利用者の荷物・貴重品・電子データ等の私物の紛失・消失・盗難・破損または汚損等
- (2) 本施設内における事故、怪我、疾病等
- (3) 本施設の法令等に伴う修理、変更、改造、または保守作業等の実施に伴う本施設のやむを得ない使用停止等
- (4) 地震、火災、風水害等の天災地変、停電、暴動または盗難、官公庁からの指導等
- (5) その他運営管理者の責に帰さない事由による損害等

第 14 条（原状回復）

利用期間が終了したときは、利用者は利用申込書に定めた期日までに、利用者が本施設を原状に復して運営管理者に明け渡すものとします。その際、本施設の持ち込まれた什器、備品、食材は利用者が全てお持ち帰りください。

第 15 条（表明保証）

運営管理者および利用者は、相手方に対して、本サービス利用予約前、予約時から終了時までのすべての時点において、自らが（利用者においてはゲストを含みます。）暴力団、暴力団関係者、暴力団関係団体、いわゆる総会屋、社会運動

標榜団体、政治活動標榜団体その他の反社会的勢力またはその構成員（以下総称して「暴力団等」といいます。）ではなく、かつ暴力団等に該当するおそれもないことを表明し保証します。

第 16 条 （損害賠償）

利用者の責に帰する事由により、本施設、運営管理者または他の利用者その他の第三者に損害を与えた場合、利用者はその損害（弁護士費用、逸失利益を含む間接損害、特別損害を含むがこれらに限られない。）を賠償するものとします。

第 17 条 （協議、準拠法、言語、管轄裁判所）

本規約に定めのない事項については、民法その他関係法令に従い、利用者および運営管理者が互いに誠意をもって都度協議し解決することとします。

第 18 条 （守秘義務）

1. 運営管理者は、利用者の個人情報（個人情報保護法第 2 条に定める個人情報等をいいます。以下同じ。）等の秘密性の高い情報について、相手方の事前の承諾なく第三者に対して提供できないものとします。ただし、次の各号に該当する場合は除きます。

(1) 法令規則等により、または政府機関、証券取引所その他公的機関等より要請された場合

(2) 本施設の管理・運営上必要な限りにおいて情報を開示しなければならない場合

2. 運営管理者は、利用者から開示を受けた個人情報を厳重に管理する義務を負うものとします。

3. 本条の規定は、本規約に基づく利用期間終了後も存続するものとします。

第 19 条 （本規約等の改定）

1. 運営管理者は、合理的な告知期間をもっていつでも本規約（第 7 条の利用料金を含みます。）を改定できるものとします。なお、改定した本規約の効力はすべての利用者に及ぶものとします。

2. 運営管理者は、本規約の全部または一部を改定する場合、本規約を変更する旨、変更後の内容および効力発生日を、効力発生日の 1 ヶ月前までに本施設に掲示し、または、専用サイトへ掲載することその他の適宜の方法により、これを利用者に告知するものとします。

以上